

宮野寛子 piano
 Gustavo Anacleto sax
 井上真那美 cello

2020 02月29日(土)

開場 13:00 ※afternoon live

開演 13:30~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3700円+2drinks order

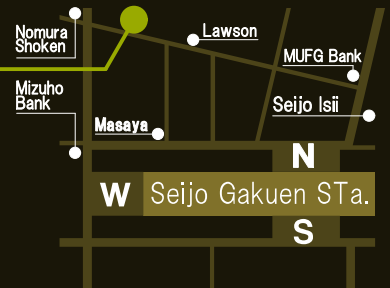
CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
 必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
 ご記載ください。



グスターボ・アナクレート

ブラジル北東部ベルナンブーコ州レシフェ出身。幼少時より独学でギター、サックスを弾き始め、その後レシフェ芸術学校に入学。在学中より音楽活動を開始。ブラジル国内のみならず、フランスや中国、シンガポール等、海外でも公演。これまでにブラジルを代表するミュージシャン（パウラ・リマ、シブーカ、エルバ・ハマリーヨ、ジョージ・ヴェルシエロ、アルセウ・ヴァレンサ、ジェラルド・アゼヴェード、レニーニ、マンチケイラなど）とも数多く共演。2006年には、ブラジルのグラミー賞にあたるティン・フェスティバルにて所属するバンド、「スポッキ・フレポ・オーケストラ」がRevolution賞を受賞。その年日本に来日。小野リサ、等ジャズ&ブラジルミュージシャンとの共演や、J-popを代表する歌手、杏里のメンバーとしても活躍。音楽的範囲は非常に広く共演の依頼は後をたたない。その現代的な音色とブラジル人独特なメロディックなインプロビゼーションと的確なスイングで、日本在住のブラジル人プロサックスプレイヤー、唯一無二の存在として今最も注目されているミュージシャンである。

宮野寛子

東京・北海道・タイ（バンコク）・静岡で育つ。2008年10月1stアルバム「Precious Moments」をリリース。2011年10月ポニーキャニオンより2ndアルバム「Notes Of Comfort」、2014年8月ビクターエンタテインメントより3rdアルバム「Ocean」をリリース。2019年3月には静岡県富士宮市の依頼により、シティプロモーションとしてのCD「美守の都 ぶじのみや」を制作。自らがディレクションしたジャケットは個性的なデザインとして話題に。オリジナル楽曲は全国のFM局を中心にしたラジオ局でオンエア、その他、日テレ系「news.every」テレビ神奈川「Weather report」の天気予報、CMなどで放送されている。ラジオパーソナリティーとしても活躍。現在はK-MIX（静岡エフエム放送）「宮野寛子一枚の写真から」放送中。

井上真那美

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科(チェロ専攻)卒業、同大学ディプロマコース修了。5年間同大学非常勤講座副手を務める。坂上領(fl)、伊藤志宏(pf)とのトリオ「piada」では「GINZA INTERNATIONAL JAZZ FESTIVAL」(2005)に出演。bootrecordより、1st album「繪本図書館」(2006)、2nd album「天球遊歩道」(2007)、3rd album「雪原夜想曲」(2012)発売。kana(fl)、廣瀬みちる(pf)とのトリオ「マナカナミチル」では1st album「音の物語」(2012)発売。2014年、伊藤志宏 3 cello variation「タペストリア」、2018年「NOCTIODRIA」に参加。その他、フリーのチェロ奏者として、スタジオワーク、ライブサポート、ジャズライブハウス等でライブ活動を展開。クラシック、ジャズ、ポップス、ボサノヴァ、ラテンなど、ジャンルにとらわれず幅広く活動中。